

Eco Action 21

Eco Action 21 環境活動レポート



環境サービス 株式会社

平成30年4月20日作成

目 次

1 環 境 方 針	1
2 組 織 の 概 要	2
3 組 織 図	3
4 環 境 目 標	9
5 環 境 活 動 計 画 の 取 組 内 容	10
6 環 境 へ の 取 り 組 み 状 況 の 把 握 及 び 評 価	11
7 環 境 関 連 法 規 の 遵 守 状 況 の 確 認 及 び 評 価 の 結 果 並 び に 違 反 、 訴 訟 等 の 有 無	12
8 代 表 者 の 評 価 と 見 直 し	13

【1 環境方針】

[環境方針]

主の事業である産業廃棄物処理においては、排出事業者様へコンプライアンス遵守、3R活動を図ることで、地球資源の保全に役立てて社会の一翼を担うことを目的としている。

今後は、廃棄物のリサイクルの他に環境マネジメントシステムを積極的に活用維持して「廃棄物の適正処理」を推進し、かつ、日常からその改善に取り組み、もって健全な地域社会の発展に寄与することを基本方針とする。

当社のリサイクル事業等では、「運搬車両」及び「産業廃棄物の破碎・熔融・圧縮施設」におけるエネルギーが環境負荷の主であり、これに伴う法規制及び地域社会のルールを遵守しながら、社員一丸となり事業活動に取り組みます。

[行動指針]

- 1、受託する産業廃棄物の再資源化を促進し最終処分量の低減に努める。
- 2、化石燃料による二酸化炭素の低減に努める。
- 3、電気使用量の削減に努める。
- 4、リサイクルセンター周辺の清掃を実施し地域の環境保全に協力する。
- 5、グリーン購入を推進し環境保全に貢献する。

社内の要所に環境方針を掲示して、全社員にエコアクション21環境経営システムを徹底します。

平成18年3月10日 制定

平成29年7月 1日 改訂

環境サービス株式会社

代表取締役 中 谷 数 正

【2 組織の概要】

環境サービス株式会社

代表取締役 中谷 数正

2) 所在地

本社 〒073-0162 北海道砂川市西2条北4丁目1番20

リサイクルセンター 〒073-0118 北海道砂川市北吉野町337番2

設立 昭和57年7月10日

資本金 1,610万円

3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 専務取締役 山田 修一

担当者 常務取締役 高見 元治

連絡先 本社 電話 0125-52-2739 FAX 0125-52-3040

センター 電話 0125-52-6902 FAX 0125-54-2729

HP <http://www.environment-service.jp/>

E-mail ksk@eos.ocn.ne.jp

4) 事業活動の内容

産業廃棄物処理業(収集運搬、中間処理、最終処分)、

建設業の種類 土木工事業 (とび・土工工事業)

5) 事業の規模

活動規模	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度
産業収集運搬量	t	840.35	1,089.62	899.07
産業中間処理量	t	6,602.54	8,821.53	23,614.13
産廃最終処分量	t	12,020.81	12,248.52	15,447.50
建設副産物量	t	425.06	454.56	409.22
売上高	百万円	352	371	453
従業員数	人	23.00	17.00	21.00
管理型最終処分場		第V期	第VI期	第VI期
埋立残容量	m ³	13,552.08	135,400.00	101,192.43
総床面積合計	m ²	523.00	523.00	315.53
本社事務所	m ²	339.60	339.60	132.13
リサイクルセンター	m ²	183.40	183.40	183.40

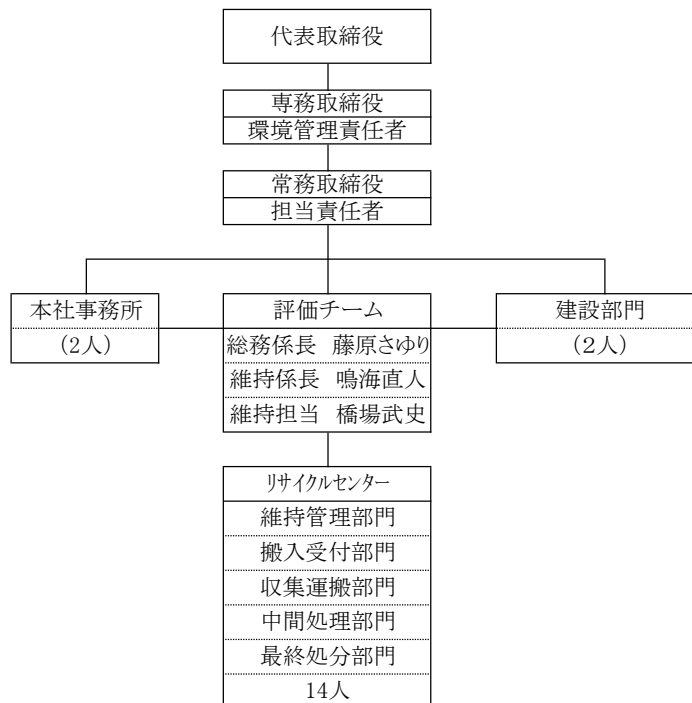
6) 対象 認証登録

① 対象期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日

① 対象範囲 1) 産業廃棄物処理処分業(収集運搬・中間処理・最終処分)

2) 建設業(とび・土工工事業)

【3 組織図】



資格等

- 1) 産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会
日本産業廃棄物処理振興センター主催講習会受講
 - ・収集運搬(特管産廃)課程平成25年02月26日 受講No.512119130
 - ・収集運搬(特管産廃)課程平成27年01月23日 受講No.514105063
 - ・処分課程(特管産廃)課程平成27年01月23日 受講No.614152078
- 2) 産業廃棄物等技術管理者(日本環境衛生センター認定資格)
 - ・最終処分場技術管理士…平成14年10月31日 認定番号No.005606
 - ・最終処分場技術管理士…平成24年 2月23日 認定番号No.035428
 - ・破碎・リサイクル施設技術管理士…平成19年11月30日 認定番号No.024647
 - ・産業廃棄物中間処理施設技術管理士…平成20年01月31日 認定番号No.024987
 - ・ごみ処理施設技術管理士…平成23年 2月10日 認定番号No.032864

地域融和

当社の施設は、見学の要請があれば随時公開をしています。

環境管理への取り組み

- 1) エコアクション21認証登録…平成18年6月8日 認証番号第0000806号
- 2) 登録以降は、有効期限は平成30年6月7日

許可の内容(事業計画の概要、処理業の許可証)

- ① 産業廃棄物の収集運搬業
- ② 特別管理産業廃棄物の収集運搬業
- ③ 産業廃棄物の処分(中間処理・安定型・管理型埋立場)業
- ④ 特別管理産業廃棄物処分業

	許可期間	許可番号	許可対象産業廃棄物
産廃の収集運搬業 (道庁)	H.28.10.28	第00110005750号	燃え殻、汚泥、廃プラ類、紙くず、木くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラス等くず、鉱さい、がれき類、動物のふん尿、動物の死体、ばいじん、13号廃棄物
	H.33.10.28		
特管産廃の収集運搬業 (道庁)	H.25.12.11	第00150005750号	廃油、廃酸(pH2.0)、感染性産業廃棄物、特定有害産業廃棄物(廃石綿等)
	H.30.12.01		
産廃の処分業 (道庁)	H.28.10.28	第00140005750号	埋立(燃え殻、汚泥、廃プラ類(石綿含有産業廃棄物を含む。))紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、鉱さい、がれき類、ばいじん 破碎(廃プラスチック類、木くず、ゴムくず、がれき類) 天日乾燥(汚泥) 13号廃棄物
	H.33.10.28		
特管産廃処分業 (道庁)	H.27.02.18	第00180005750号	埋立(廃石綿等)
	H.32.02.17		

3 処理施設及び処理実績

① 収集運搬

1) 運搬等車輛

車輛の型式	運搬用途等	台数
ニッサンディーゼルダンプ4t	産廃(汚泥)	1
日産キャブオーバー 1t	産廃貨物車	1
トヨタキャブオーバー 1t	産廃貨物車	1
いすゞダンプ9.4t	がれき類車	1
日野ダンプ8.9t・10t	産廃ダンプ車	2
いすゞエルフバン2t	医療収集車	1
日野キャブオーバー2・85t	トラッククレーン付	1
日野レンジャー 6.9t	トラッククレーン付	1

2) 積替保管場所

No.1 砂川市焼山320番1 面積…鉄骨、床コン(43.4㎡)・上限量(20.1㎡)・種類…紙くず

No.3 砂川市焼山374番 面積…周囲なまこ板、床コン(150㎡)・上限量(145.83㎡)・種類…金属くず

3) 収集運搬の実績(平成29年度)

単位:t

廃棄物種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
燃え殻	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
汚泥(無機)	0.03	12.90	44.06	12.95	14.71	12.87	10.70	12.89	20.46	6.67	13.76	13.23	175.23
汚泥(有機)	8.67	4.51	3.42	3.46	10.90	0.71	6.77	8.99	7.72	8.16	4.22	9.25	76.78
廃プラスチック類	3.70	6.45	30.08	4.02	5.39	2.93	22.73	5.59	3.16	3.84	0.55	97.71	186.15
紙くず	0.21	0.32	0.25	0.02	0.50	0.57	0.34	1.39	0.57	0.02	0.05	0.08	4.32
木くず	1.31	4.12	2.52	1.84	4.83	2.22	3.17	3.98	3.65	0.01	0.03	68.11	95.79
繊維くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.11
金属くず	2.20	1.81	0.91	2.46	3.90	0.86	1.92	0.22	1.54	1.46	1.57	4.92	23.77
動物性残渣	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ガラスくず・コンクリート陶磁器くず	6.03	1.92	0.48	0.06	5.45	4.47	6.08	3.28	3.12	0.57	0.29	1.85	33.60
がれき類	16.18	239.92	0.53	0.00	18.31	9.56	0.00	0.46	1.22	7.31	0.04	1.42	294.95
鋳さい	0.00	1.19	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.19
廃石綿等(飛散性石綿)アスベスト	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性廃棄物	0.67	0.64	0.65	0.66	0.77	0.30	0.32	0.79	0.68	0.90	0.14	0.66	7.18
合計	39.00	273.78	82.90	25.47	64.76	34.49	52.03	37.70	42.12	28.94	20.65	197.23	899.07

② 処分

1) 処理場内の運搬・覆土等車輛

車輛の型式	処分用途等	台数
川崎85H1(20.11t)	ショベルローダー	1
L150H(17.7t)	ショベルローダー	1
川崎85N3(19.2t)	ショベルローダー	1

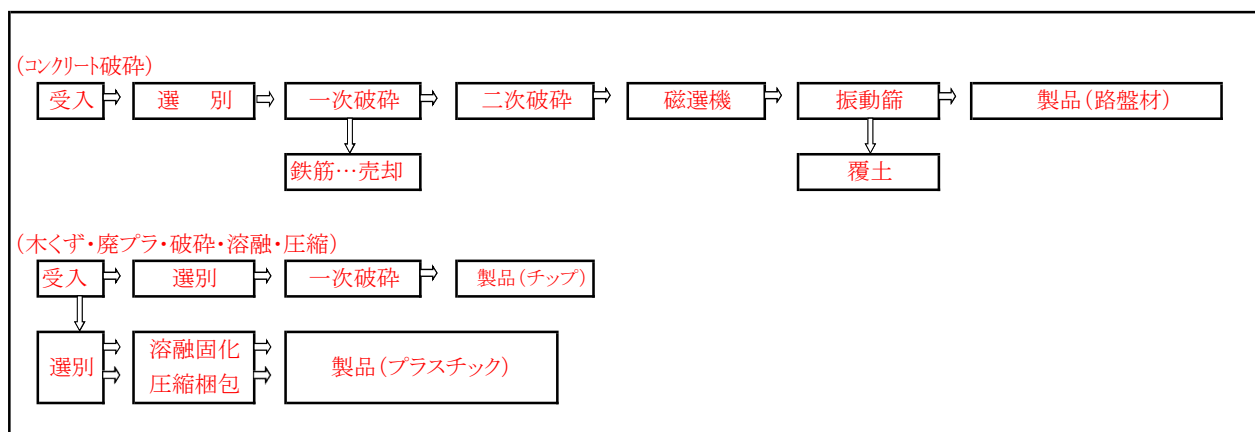
1) 処理場内の運搬・覆土等車輛

車輛の型式	処分用途等	台数
LX30-7	ショベルローダー	1
TCM-805	ショベルローダー	1
油圧ショベル 225605	バックホウ0.8m ³ 【I型】	1
油圧ショベル 107671	バックホウ0.8m ³ 【I型】	1
油圧ショベル 114800	バックホウ0.8m ³ 【I型】	1
油圧ショベル 117395	バックホウ0.8m ³ 【I型】	1
油圧ショベル 202930	バックホウ0.8m ³ 【III型】	1
油圧ショベル 304531	バックホウ0.8m ³ 【V型】	1
油圧ショベル 64840	バックホウ0.5m ³ 【I型】	1
油圧ショベル 097213	バックホウ0.5m ³ 【V型】	1
ミニバックホー 6004	バックホウ0.2m ³	1
ブルドーザー	敷き均し埋立用	1

2) 処理施設(中間)

砂川市焼山377番・375番1					
対象廃棄物	処理施設種類	設置年月日	処理能力(t/D…t/h)	処理方式	備考
がれき類等	破砕	H.6.8.8	350t/D…43.75t/h	STクラッシャー	形式 S5-D
木くず	一次破砕	H.14.6.20	480t/D…60t/h	2軸シュレッダー	HB380クローラー

3) 処理工程図(中間)



4) 中間処理の実績(平成29年度)

廃棄物種類	処分方法	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
廃プラスチック類	リサイクル	5.51	10.87	8.23	12.36	14.68	15.04	12.68	14.59	7.99	4.85	1.28	4.60	112.68
木くず	リサイクル	40.32	41.34	83.31	32.42	36.84	42.44	65.62	77.03	39.26	28.94	13.94	42.44	543.90
紙くず	リサイクル	0.21	0.32	0.53	0.49	0.67	0.57	0.67	1.53	0.67	0.34	0.08	0.11	6.19
ゴムくず	リサイクル	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
金属くず	リサイクル	7.57	5.52	4.32	10.01	7.00	2.36	9.01	6.58	5.41	1.79	2.57	7.18	69.32
ガラスくず・コンクリート陶磁器くず	リサイクル	33.04	6.93	4.55	0.52	1.21	0.00	0.00	10.49	0.00	0.00	0.08	0.00	56.82
がれき類(アスファルト)	リサイクル	90.96	16.00	207.67	250.94	88.59	17.11	47.10	68.96	0.54	0.46	160.37	31.03	979.73
コンクリート(無筋)	破砕	122.83	416.33	174.18	101.29	163.23	180.15	155.06	212.01	118.85	171.47	107.11	79.68	2,002.19
コンクリート(有筋)	破砕	49.12	49.84	237.16	2,939.43	948.25	160.04	174.12	2,528.01	48.40	10,822.80	719.72	11.10	18,687.99
コンクリート(CP柱)	破砕	288.12	92.88	44.06	84.29	65.97	9.58	57.87	131.25	76.54	31.54	152.44	12.02	1,046.56
がれき類	破砕	3.71	1.28	1.58	16.36	5.01	15.13	16.78	46.87	2.03	0.00	0.00	0.00	108.75
合計		641.39	641.31	765.59	3,448.11	1,331.45	442.42	538.91	3,097.32	299.69	11,062.19	1,157.59	188.16	23,614.13

中間処理受託量 23614.13t
 中間処理後の生産量 23614.13t
 処理後 有効利用量 23614.13t
 処理後 処分量 0t
 埋立て直接受託量 15,447.5t

5) 処分(埋立)

埋立施設の種類	施設の設置場所	設置年月日	埋立面積(m ²)	実質埋立容量(m ³)	終了予定
安定型及び管理型	砂川市焼山317番他11	H.27.07.21	30,600	135,400	平成35年

処理工程図(埋立)

燃えがら・汚泥・廃油・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・動物性残さ・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・動物の死体・ば
コンクリートくず及び陶磁器くず・(石綿含有産業廃棄物含む)・鉱さい・がれき類(石綿含有産業廃棄物含む)・動物のふん尿



※適宜覆土 廃棄物の飛散の恐れがある場合・・・・・・20cm

※廃石綿等の埋立は、一定の区域を杭で明示した後、埋立地の外へ分散しないよう散水しながら覆土を施します。

浸出処理施設の処理方法

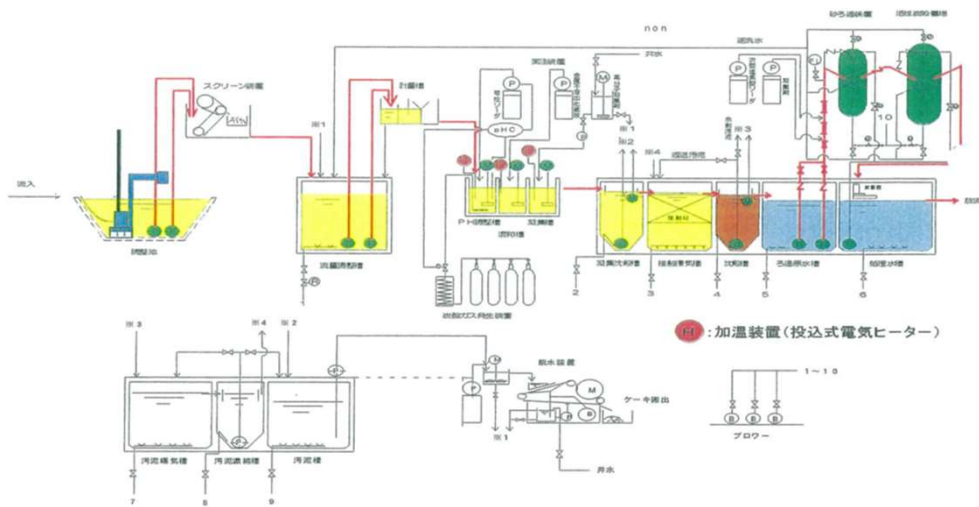
本計画の処理方法は下記に示すとおりである。【設計計算書】参考資料 参照)

又、浸出処理施設の処理能力は、別紙【水理計算書】水収支計算より、下記の値とする。

尚、浸出水は冬季に水温が下がり、生物処理に適さない水温となる場合があるが、このときは加温用電気ヒーターにより生物処理に適する水温まで加温するものとする。

処理方式	処理能力
凝集沈殿+接触曝気+砂ろ過+活性炭吸着	120m ³ /日

処理フローシート



6) 埋立実績(平成29年度)

廃棄物種類	処分方法	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
燃え殻	埋立	4.85	0.00	0.15	0.26	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4.57	9.83
汚泥(無機)	埋立	25.12	14.63	45.79	12.95	19.05	12.87	14.95	12.89	27.53	6.70	13.76	13.23	219.47
汚泥(有機)	埋立	8.67	4.51	6.36	3.46	14.22	6.51	6.93	8.99	12.17	8.16	4.22	9.25	93.45
廃プラスチック類	埋立	149.55	171.43	272.66	174.09	441.84	172.56	324.31	263.28	164.61	159.31	131.31	203.43	2628.38
廃プラスチック類(SR)	埋立	913.00	943.58	954.44	804.78	580.92	712.76	758.16	674.10	621.70	499.58	595.00	603.28	8661.30
ガラス陶磁器くず(ギロチン)	埋立	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
紙くず	埋立	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.57	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.64
木くず	埋立	11.58	8.76	19.16	2.33	4.04	8.59	9.12	22.41	3.30	14.87	3.18	55.43	162.77
繊維くず	埋立	1.24	11.81	14.74	9.23	16.11	7.81	6.35	25.01	15.23	3.36	5.87	14.24	131.00
動物性残さ	埋立	0.15	0.17	4.52	0.17	0.13	0.60	0.13	0.16	0.12	0.26	0.16	0.14	6.71
ゴムくず	埋立	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ガラスくず・コンクリート陶磁器くず	埋立	184.96	242.73	284.65	268.01	296.23	228.30	328.61	326.55	232.46	133.10	79.41	181.04	2786.05
ばいじん	埋立	42.61	42.55	43.27	43.28	45.71	43.19	45.13	45.51	44.31	42.21	42.55	44.05	524.37
がれき類	埋立	0.00	0.00	0.00	0.00	13.41	0.00	0.36	0.00	0.00	0.00	0.00	5.65	19.42
がれき類(アスファルト)	埋立	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.76	0.00	0.00	0.76
鋳さい	埋立	0.00	1.19	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.19
廃石綿等(非・飛散性石綿)	埋立	0.00	0.00	0.00	0.06	0.00	0.43	0.14	2.40	4.09	0.00	0.00	0.00	7.12
金属くず	埋立	0.01	0.00	0.00	0.00	8.22	1.06	0.14	7.64	9.18	0.00	12.05	0.00	44.12
廃油(タールピッチに限る)	埋立	0.00	132.26	0.00	5.39	0.03	4.10	0.00	0.00	0.00	4.08	0.00	0.00	145.86
13号廃棄物	埋立	0.00	0.00	0.00	0.00	5.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	5.06
合計		1341.74	1573.62	1645.74	1324.01	1444.97	1198.78	1494.90	1388.94	1134.70	872.39	887.51	1134.38	15447.50

【4 環境目標】

1 環境目標(中長期目標)は、次のとおり定める。

項目	(平成26年)基準値		中長期目標				目的	
	実数	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
削減 エネルギー 投入量の 内訳等	CO ₂ 排出量	751,809.50	kg-CO ₂	-1%	-1%	-1%	-1%	-4%
	電力	436,337	KWh	-1%	-1%	-1%	-1%	-4%
	灯油	98,714	L	-1%	-1%	-1%	-1%	-4%
	ガソリン	7,424	L	-1%	-1%	-1%	-1%	-4%
	軽油	66,484	L	-1%	-1%	-1%	-1%	-4%
	紙使用量	186	kg	-1%	-1%	-1%	-1%	-4%
	上下水道	53	m ³	-1%	-1%	-1%	-1%	-4%
増大	再資源化量	6,721.6	t	1%	1%	1%	1%	4%
	グリーン購入の促進	3	件	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜

項目	(平成26年)基準値		平成29年度(4月～3月)の実績				
	実数	単位	目標値	率	実績	基準値差	
削減 エネルギー 投入量の 内訳等	CO ₂ 排出量	751,809.50	kg-CO ₂	729,255.21	-1%	729,630.70	-22,178.8
	電力	436,337	KWh	423,247.00	-1%	374,552.0	-61,785.0
	灯油	98,714	L	95,753.00	-1%	94,229.0	-4,485.3
	ガソリン	7,424	L	7,201.00	-1%	8,138.8	714.7
	軽油	66,484	L	64,490.00	-1%	80,299.9	13,815.5
	紙使用量	186	kg	120.0	-1%	70.00	-116.0
	上下水道	53	m ³	52.47	-1%	48	-5.0
増大	再資源化量	6,721.6	t	6,721.6	1%	23,614.13	16,892.5
	グリーン購入量	3	種類	適宜実施	-	-	-
	地域周辺の美化運動	○	-	管理の徹底	-	○	-

1 廃棄物排出量は、従業員が個人的に排出するペットボトル・飲料用空き缶等のため、分別して有効利用を図っているため、対象から除外をしたこと。

また、建設業に係る廃棄物の埋立量は、受託した工事内容によって量が変わり、当社の努力で対処できないこと、並びに委託に基づく産業廃棄物の埋立量の削減は、最終処分の縮小を意味するため対象から除外をした。

2 平成28年度二酸化炭素排出原単位は平成26年度北電デフォルト値は、0.688Kg-CO₂Kwhを使用。

【5 環境活動計画の取組内容】

1 二酸化炭素排出量の削減

① 電力の抑制

- a) 夏は、光を極力遮断し冷房効率を上げる。
- b) 冬は積極的に昼光を取り入れる。
- c) 昼休みの消灯(減灯)及びパソコンは極力待機電力にする。
- d) 省エネタイプのOA機器の導入をする。
- e) リサイクルセンターの水処理施設は24時間稼働のため電力の削減はできないが環境に対応するモーターを使用している。

② 灯油の使用量の削減

- ・冬季間は室内温度を、概ね20度～23度にする。

③ ガソリン及び軽油燃料の削減

- a) アイドリングをせず、アクセルむらのない運転を推進する。
- b) 経済速度で走行(法定速度の遵守)する。
- c) 急発進・急加速をしない優しい運転をする。
- d) 重機車両の整備点検を徹底する。
- e) 各車両ごとの燃料使用量を把握し、燃料の削減に努める。
- f) 重機の購入は、低騒音・低振動・低排ガス型の車両を選定する。

2 紙使用量削減

- ① 使用済み紙は、裏面も使用する。
- ② 書類は、可能な範囲で電子化をする。

3 水資源投入量削減

- ① 洗車は、自然湧水を使用する。

4 再資源化量の増加

- ① 金属くず・木くず等は、選別・回収・破砕等をして資源化をする。
- ② コンクリート・アスファルトは、破砕・選別をして資源化をする。
- ③ 廃プラは選別・破砕・圧縮、熔融をして再資源化をする。
- ④ 紙くず(段ボール等)は圧縮をして再資源化をする。

5 グリーン購入の推進

- ① エコマーク事務用品への切り替えをする。
- ② 名刺は、再生紙を使用する。

6 その他

- 地域周辺の美化運動を行う。

【6 環境への取組状況の把握及び評価】

取組計画	目標値	実績	結果	評価
CO2排出量 単位 kg-CO2	729,255.2	729,630.7	減少	廃棄物の受入れが前年より増加したが2.16%Co2削減になった 今後も削減の工夫を社員に周知を行う。
①電力の削減 単位 KWh	423,247.0	374,552.0	減少	目標値より減少はしているが前年より若干増加している。今年度は、9月に本社移転のため冷暖設備を家庭用電力に設定。
化石燃料使用量の削減	95,753.0	94,229.0	減少	廃棄物の受入れ及びがれきの受入れが前年より多く重機の稼働時間が多かった。 大雪と低温の日が多く暖房を行った。 本社移転に伴い以前より断熱がよく灯油の燃費が減少した。
②灯油 単位 L				
③ガソリン 単位 L	7,201.0	8,138.8	増加	遠方の営業、現場が増え廃棄物の搬入にもフルに使用のため増加。 流雪巡回に使用アイドリングストップやエコドライブを行う努力はしたが増加した。 今後も、削減の工夫を行う。
③軽油 単位 L	64,490.0	80,299.9	増加	社外の現場が増え軽油使用車の稼働率が上がったのも増加に繋がった。排ガス規制車を稼働率の少ない現場に配置するなどの工夫はしたが削減には至らなかった。 これからも削減に向け創意工夫を行い削減につなげる。
2、紙使用量の削減 単位 kg	120.0	70.0	減少	社内報は裏紙用紙の使用を徹底。重要案件はUSB及びメールの活用するなどペーパーレス化に努めた。結果減少に繋がった。これからも努力していく。
4、再資源化の推進 単位 kg	6,721.6	23,614.1	増加	大型の解体が増加し特にがれき類が多かった。
5、グリーン購入の推進 単位 件	3	0	減少	本社は、照明等をLEDに替えた リサイクル用品の多様化によりエコ商品が選びやすくなったので、これからも積極的にエコ商品の購入を推進していく。
6、地域周辺の美化運動 単位 回	2	適宜	継続	リサイクルセンター周辺のゴミ拾いを積極的に行った。 今後も美化活動を進めていく。

次年度の取り組み

取組計画	目標値	目標率	取組内容
CO2排出量 単位 kg-CO2	721,737.1	-1%	高電圧の機械等の時間の節約・効率を実施を継続。
①電力の削減 単位 KWh	418,883.5	-1%	引き続き退出時、昼休み中は照明を消す。PC使用後は必ず電源を切る。 防犯灯、施設照明をLEDに変更する。過度の照明器具の設置を抑える。
化石燃料使用量の削減	94,765.4	-1%	重機使用の灯油削減に努め、重機アイドリング時間を抑える。 暖房費を削減する為、温度設定を守りウォームビズを引き続き実施する。 基準値・目標値の見直し。
②灯油 単位 L			
③ガソリン 単位 L	7,127.0	-1%	エコドライブの実施(アイドリングストップ・速度制限)する。
③軽油 単位 L	63,824.6	-1%	重機・車輛の(アイドリングストップ・暖気運転の時間削減)を行う。 作業効率を上げ重機、車輛の稼働時間を削減する。
2、紙使用量の削減 単位 kg	178.6	-1%	コピー用紙の裏紙使用を推進・データのペーパーレス化を進める。
4、再資源化の推進 単位 kg	6,990.4	1%	社内での出るペットボトル・空き缶を分別再資源化に活用。 木屑・金属・プラスチック・紙くずをより再資源化に努める。
5、地域周辺の美化運動 単位 回	2	適宜	地域周辺のボランティアゴミ拾いを行う。 随時、目立つゴミは拾い、周辺美化に努める。

【7 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無】

① 環境関連法規は、代表が評価する平成29年4月20日に行政機関のHP等で改廃等及び遵守状況を確認。

当社に必要な法律を次表のとおり確認しているため、適切と評価している。

適用法令	主な確認内容	確認状況	
廃棄物処理法	収運・処分業	更新許可、変更許可、変更届出の規定	遵守の確認
	破砕施設	更新許可、変更許可、変更届出の規定	遵守の確認
	最終処分場	更新検査・変更許可、変更届出、維持管理の規定	遵守の確認
		施設管理、排水管理の規定	遵守の確認
		破砕機・最終処分場に係る技術管理者の設置規定	遵守の確認
	不法行為	廃棄物の投棄禁止及び焼却の禁止規定	遵守の確認
その他	管理票の交付、回付、報告の規定	遵守の確認	
建設業法 (建設リサイクル法)	解体工事前の届出規定 発注者へ再資源化報告等の規定	遵守の確認	
浄化槽法	維持管理の規定(委託契約で対応)	遵守の確認	
水濁法	排水基準の維持管理規定	遵守の確認	
大防法	車輛の排ガス基準(車検)遵守規定、廃石綿の適切な処分の規定。	遵守の確認	
毒劇取締法	毒物の表示と施錠・劇物の表示と区別保管の規定	遵守の確認	
公害防止条例	騒音・振動(設置・変更届出)の規定	遵守の確認	
フロン排出抑制法	受託した業務の冷蔵機器からフロン類が回収されている事の実施の確保	遵守の確認	
水銀に関する水俣条約	受託した廃棄物に水銀を使用した製品が混入していないかの確認	遵守の確認	
石綿による健康被害の救済に関する	特管、産廃と区別し処理規定に見合った適切な処理の管理確認	遵守の確認	
消防法条例	灯油タンクの設置届、変更届出の規定	遵守の確認	

② 環境関連法規のうち廃棄物処理法及び建設業法等は、当社の事業に直接関係する法律で

過去3年間に関係当局から3ヵ月以上の行政処分はない。また、訴訟の事実もありません。

代表者の評価と見直し

【環境方針】

環境方針を平成29年7月1日に改定した。

【環境関連法規】

- ① 環境関連法規は、水銀使用廃棄物に関連する法規、フロンガスに関する法規、石綿に関する法規が改正になり適切な処理の確認をした。
- ② 法規の遵守状況は、4月10日に確認をして報告をしたとおり違反はなかった。

【環境目標及び環境活動計画】

- ①平成30年度は、Co2削減-1%にすることを目標値とする。

【実施体制】

- ① 前年度同様、顧問2名による環境関連法規の遵守と年間12回の産廃関連の講習を全員受講すること。
- ② 「代表者へ報告した情報」は「代表者への報告・評価事項」とする。

【緊急事態への準備及び対応】

特に変更はしない。

【その他】

特になし